



しほこの樹



会報誌 第14号(令和1年7月)

【村松志保子と助産師顕彰会】 村松志保子は、明治・大正時代に医術の研鑽を深め産婆となり産婆育成に尽力し母子のために保健福祉的な慈善活動を展開されました。当会では、助産師（産婆）として、博愛精神に基づいた福祉活動や女性の地位向上のために活躍した村松志保子の功績を顕彰し、その精神と志に根ざした活動を現在実施している助産師、あるいは、過去に活躍した助産師（産婆）を表彰しています。そして、村松志保子の志を継承した活動を通じて地域社会に貢献することを目指しています。

平成30年度 第22回 村松志保子助産師顕彰会式典

会場：墨田区役所「リバーサイドホール」 日時：平成30年7月8日 日曜日

<ご来賓>

山本 亨 様 墨田区 区長
山本詩子 様 公益社団法人日本助産師会 会長
藤田房子 様 一般社団法人桶谷式乳房管理法研鑽会会長(代理)

<平成30年度 第22回 村松志保子賞等表彰者>

○村松志保子賞 (10名)

- 1) 石田千ハル様 (地域母子保健への貢献)
- 2) 絹巻敏子様 (助産師教育・母子保健への貢献)
- 3) 木村きよ様 (母乳育児支援)
- 4) 高野千代様 (地域母子保健への貢献)
- 5) 太刀岡ゆき様 (地域母子保健への貢献)
- 6) 坪田貞子様 (地域母子保健への貢献)
- 7) 中井恭子様 (助産師教育・地域母子保健への貢献)
- 8) 成瀬裕子様 (母乳育児支援)
- 9) 林ヨシエ様 (地域母子保健への貢献)
- 10) 星野ひさ子 (地域母子保健への貢献)

○精励(せいれい)賞 (3名)

- 1) 今村朋子様 (助産師教育・地域母子保健への貢献)
- 2) 星野優子様 (助産研究・政策)
- 3) 山城五月様 (母子保健への貢献)



受賞者の皆さまと記念撮影

○特別賞 (3団体)

- 1) 一般社団法人川崎市助産会 (地域母子保健への貢献)
- 2) 一般社団法人横浜市助産師会 (地域母子保健への貢献・国際交流)
- 3) モンゴル助産師会 (組織強化・地域母子保健への貢献)

<記念講演1.「後輩助産師に伝えたいこと」 東京都助産師会ご所属 太刀岡ゆき様>

特別講演 (要約)

病院を定年退職後は保健所で、受胎調節実地指導員や新生児訪問等を15年、70歳で定年退職された。ご夫婦での生活を楽しもうとした矢先にご主人を亡くされ、「さみしい思いをしたが、仕事や、寿会の仲間と歌を歌ったり、なでしこ会に参加することで元気をもらっている」とのこと。生前のご主人との日常や、いまでも仏壇に手をあわせ「3時にはコーヒーをお供えすると落ち着く」等お話しされ、ご夫婦がいかに仲が良かったかをうかがうことができた。いまは「耳の痛いニュースが世間を騒がし、日本がどうなるのかさみしくなる」とおっしゃる一方で「生命の誕生という職務にあたっているの、恒日ご感謝し、立派なお産をとというのが私の願いである、私たちの仕事に感謝」と締めくくられた。

<記念講演2.「天津市との研修支援・交流について」 一般社団法人 横浜市助産師会 会長 市川恵子様>

横浜市助産師会は、2017年から中国天津市の助産師の研修受け入れ、今年4月に2回目となった。4月9日2週間滞在し、10日間研修実施された。研修内容として、行政からのお話や、我が国の助産師教育課程、助産師の独自性と責任範囲等があり、助産師や医師の講義を病院や助産所、大学で実施された。その様子を写真で示されながら説明してくださった。横浜市助産師会助産院「はなみづき」を6月1日に開院され、7月1日から訪問看護ステーションも立ち上げられ、「ますます頑張っていかなければいけないところ受賞身の引き締まる思いである」と話された。横浜市助産師会の助産師のみなさまのご活躍とますますのご発展を！！

<記念講演 3.「助産文献の電子保存の意義」 大妻女子大学 教授 大出春江様>

松岡先生、伊賀先生と民俗学、人類学、社会学と分野の違う研究者での協力のもと2017年度文部科学省の科学研究課題に採択された「日本の出産文化の歴史社会学的研究、リプロダクティブヘルスと助産所の機能を中心に」をテーマに、産婆、助産婦、助産師の歴史に興味を持ち、出産についても考えてきた。日本各地に所蔵されている産婆、助産婦に関する資料の電子化に着手。資料提供を募集時、当時日本助産師会会長の岡本先生から協力を得て、貴重な資料を手に入れた。電子化は、所在情報の共有化、専門職以外でも出産や助産に関心を持つ人がアクセスしやすくなり、より多くの方に、助産師やその歴史を広く共有化し、周知できる。また日本の近代化する上で、出産の医療化がどう進化したか、産婆、助産婦がどう動員されたか、戦後GHQ占領下で助産師の再教育がどのように行われたか等も明らかになる。今後の課題は資料保管方法や、公開方法をどうするか、「みなさまからも知恵をいただけたらありがたい」と話された。



安産福運大祭「母子と助産師の日」 平成31年3月8日 記念イベント



“日本で唯一の産婆乳母の祖神” 愛媛県に所在する高忍日賣神社にて開催

私たち助産師は、出産や子ども虐待、大災害等で失われた母子の生命に対して、深い哀悼の意を表し、また、母子とそのご家族や女性のリプロヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康と権利）の支援活動を生涯実践した先輩助産師の遺功を偲び、ここに、敬意と感謝の意を捧げます。

そして、私たちは3月8日を「母子と助産師の日」と定め毎年この地に集い、世界中の全ての母子と家族に幸福が、また世界中に平和が到来することを心から願って祈りを捧げています。

～平成31年3月8日プログラム～

- ◆午前の部(会場:徳丸老人憩いの家:高忍日賣神社の隣)
 - ・総合司会:黒田優子(公益社団法人日本助産師会地区理事)
 - ・開催挨拶:後藤正宜(高忍日賣神社宮司)
 - ・講師紹介:岡本喜代子(公益財団法人東京都助産師会館理事長)
 - ・来賓:山本詩子氏(公益社団法人日本助産師会会長)

《特別講演》

テーマ:「世界の助産師活動-ICMの会長としての回顧からの学びと期待-」

講 師:フランシス氏:Ms. Frances Day-Stirk
(国際助産師連盟(ICM)前会長)

通 訳:谷口初美氏

(九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野教授)

《質疑応答》



- ◆午後の部(会場:高忍日賣神社)
 - ・安産福運大祭 斎行
 - ・お祈りとお話(宮司の後藤正宜様)

《特別講演》

午前の部



ICM(国際助産師連盟)は3年毎に大会が開催され、世界中の助産師が集います。ICMのビジョンは「出産を迎える女性一人一人が、新生児と共に助産師のケアを受けられる世界を目指す」、そして、ミッションとして「女性のリプロダクティブ・ヘルスおよび新生児と家族の健康増進をはかるため、出産を迎える女性にとって、そして出産を正常に保つということにおいて、最適なケアを提供する助産師の自律性を促進することによりICM加盟団体の強化と世界的に助産の専門性の向上を図る」と掲げています。2017年カナダのトロントで開催された大会の様子を写真や動画とともに、ジョークも交えて楽しく紹介してくださいました。

フランシスさんのお話を伺いながら、スクリーンに映る世界の助産師さんたちの明るく活き活きとした笑顔に、元氣と勇気をいただき、会場のみなさまと一体感を味わい、助産師としての使命感を新たにしました。



今年は、福岡県福岡市で3月に「第33回日本助産学会学術集会」が開催されましたが、その特別講演されるために来日された、ICM前会長フランシスさんが、大祭にもいらしてくださり、「産婆の日のイベント」で貴重なお話しをしてくださいました。この「安産福運大祭」もグローバル化!! みなさん講演を聴講され、助産師として世界に視野を向けるきっかけとなるすばらしい時間となったようです。遠路いらしてくださったフランシスさん、また同行され、参加されたみなさんが、楽しくほっこりなるような通訳をしてくださった谷口先生に心より感謝申し上げます。

参加者アンケート（感想を一部ご紹介）

☆参加したきっかけ☆

- ・以前参加してよかったから。
- ・入学当初よりアナウンスがあり、お産の神様がいると知った。
- ・娘と一緒に参加したかった。
- ・学生の授業で知った、授業の一環。
- ・学生ボランティアで。
- ・愛媛県助産師なので、毎年可能な限り参加してきた。今後も参加予定。
- ・一度高忍日賣神社を訪れたかった。大祭に参加したかった。
- ・助産師のお守りから。
- ・知人から聞いた、知人のすすめ。
- ・同窓会を兼ねて初めて参加。
- ・特別講演を聴講したかった。

☆感想等☆

- ・英語を勉強しようと思った。
- ・貴重なICMの話や他の学生と交流をすることが出来よかった。
- ・地元の活動だけでなく国際的な活動にも目を向けたいと思う。
- ・たくさんの準備や運営に感謝。とても貴重な体験となった。
- ・違いを探すより、共通点をという話がヒトの良いところを努力してみつけていくという今の私に必要なことを教えてもらえた。
- ・ミカンやお菓子など丁寧なおもてなしがとてうれしかった。
- ・やや会場が寒かった。
- ・話は貴重なものばかりで参加してよかった。
- ・普段自分では聞きに行かない話が聞けてよかった。

みなさまありがとうございました

*** 安産福運大祭 ***



午後は高忍日賣神社において
静寂の中、高忍日賣様にお祈りをささげる厳かな神事がとり行われました。
今年はよいお天気でした。

午後の部

安産福運大祭
終了後の
記念撮影

連理の枝

毎年 愛媛助産師会の
皆さまから
多大なるご協力を
いただいております。
いつも本当に
ありがとうございます。

ひめじょ（愛媛助産師会）の皆さま



➤令和1年度 第23回 村松志保子助産師顕彰会通常総会及び表彰式典

日時:令和1年7月20日(土) 13:30~15:30 (13:00より受付)
 場所:すみだリバーサイドホール1階ミニシアター(墨田区役所1階)
 内容:午前中に総会・午後より式典(表彰式、記念講演、写真撮影)
 ※表彰者(村松志保子賞12名 特別賞3名 精励賞3名・1団体)



➤村松志保子先生のお墓参り・回向院等へのお参り

日時:令和2年1月中旬頃
 ※日程は決定次第ホームページに掲載いたします。
 参加ご希望の方は、一週間前に下記顕彰会事務局まで確認のお問い合わせをお願いいたします。

➤令和2年度 第8回「母子と助産師の日」イベント

日時:令和2年3月8日(金) 14:00~15:00
 場所:愛媛県愛媛県伊予郡松前町大字徳丸387 高忍日賣神社(たかおしひめじんじや)
 ※第8回におきましては、都合により午前中のイベントの開催はございません。

◎高忍日賣神社のトイレ改修協力基金について

昨年より毎年お世話になっている高忍日賣神社を参拝されるみなさまのために、境内のトイレ改修協力基金として、昨年度から引き続きご寄附をお願いしております。

1口 1,000円

皆さま御協力よろしくお願い申し上げます。 振込先は下記の会費振込先と同様です。
 備考欄に「トイレ改修寄付金」と記載してください。
 また大変恐縮ですが、振込手数料はご負担となる旨お許しください。



◎村松志保子助産師顕彰会ホームページを開設しています！ 是非アクセスしてみてください。

HPアドレス : <https://www.jyosansikensyokai-m-sihoko.com>

会員パスワード : MSK126

村松志保子顕彰会



★ホームページの、当会について をクリックして「会員ページ:会報誌」を開き、パスワードをいれると会報誌(しほこの樹)と平成31年「母子と助産師の日」のイベント写真がダウンロードできます。

【お願い】

村松志保子助産師顕彰会は、会費や寄付金などで運営しています。より充実した活動を継続していくために、当会の趣旨や活動にご賛同して頂ける会員やご支援の寄付金を広く募っています。

現在ご活躍されている助産師や歴代のお産婆さんなどの情報もご連絡をお待ちしております。

また、会報誌「しほこの樹」へのお便りもぜひお寄せください。

「村松志保子助産師顕彰会」事務局

【お問い合わせ先・入会等について】

「村松志保子助産師顕彰会」事務局
 住所 : 〒192-0914 東京都八王子市片倉町1181-5
 電話・FAX : 042-635-7117 (岡本喜代子)
 Eメール : otafuku-o@nifty.com.jp

【会費等振込先】

口座名 : 村松志保子助産師顕彰会
 口座番号 : 郵便貯金 総合通帳
 記号 : 10040
 番号 : 97136531
 入会金 : 5,000円 年会費 : 5,000円

